

車両

主要製品

- 各種電車(新幹線を含む)
- 機関車
- 客車
- 台車

車両カンパニー
プレジデント
本川 一平



カンパニービジョン

最強のチームワークと最高水準の技術と品質で、
世界のお客様に夢と感動を届け、
最も信頼される鉄道車両システムメーカー

機会

- 国内市場における底堅い更新需要
- アジア新興国市場での都市交通整備の需要
- 北米市場の地下鉄、通勤車両の安定した需要
- 各市場における部品、保守、改造工事などのストック需要の拡大

リスク

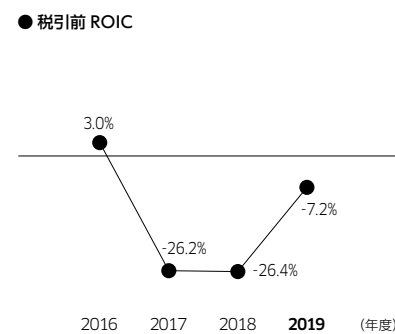
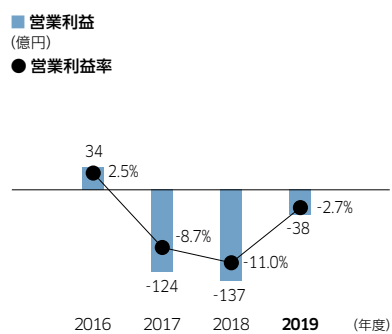
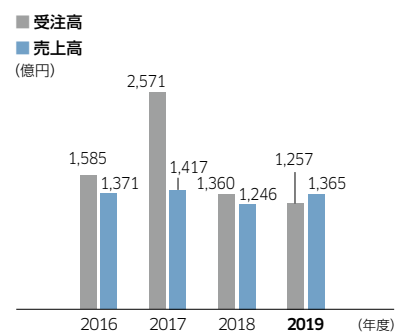
- 競合メーカーの北米市場への新規参入による価格競争の激化
- 新規参入市場でのカントリーリスク
- 新型コロナウイルス感染拡大による鉄道会社の投資計画見直し

コアコンピタンス

- 総合重工の強みを活かした高い技術力
- 国内外の豊富な実績により培われた契約履行能力
- 海外案件の履行における他社とのパートナーリング力

事業運営方針

- 品質管理体制の再構築、採算性を重視した受注の徹底および高い技術力を活かした非価格競争力の維持・強化
- 北米市場での既受注大型案件の着実な履行およびアジア新興国案件の受注促進
- 豊富な納入実績を活かした高収益のストック型ビジネスの積極展開とコアコンピタンス強化による車両ライフサイクル全般での収益拡大



事業環境と戦略

新型コロナウイルスの影響で、国内では乗客数減少に対応した鉄道関連投資計画の見直し、海外では新線の建設工事の遅れが現実となりつつありますが、環境に優しく日常生活に密着した公共交通手段としての鉄道システムは、世界的に、人口集中による大都市の混雑緩和や環境対策のための都市交通整備、アジア諸国の経済発展に伴う鉄道インフラニーズなど、長期的に安定した成長が見込まれます。

このような事業環境の中、本事業は非価格競争力の強化やビジネスモデルの変革による収益力の向上、プロジェクト管理の強化、品質管理の向上に取り組んでおります。また、「質重量従」方針のもと、当社の優位性が発揮できる案件に注力するとともに、ストック型ビジネスを国内外で拡大することにより、課題である収益力の向上を目指します。

北米市場では、ニューヨーク市交通局向けなどの既受注案件を着実に履行し、安定的収益基盤の構築に向け、IoTを活用した軌道モニタリングの事業化や部品、改造工事、保守などの事業に注力します。

継続的な市場の伸びが期待されるアジア市場においては、日本政府の鉄道インフラ輸出促進政策による新興国向け円借款案件の取り込みなどにより事業拡大を図ります。

社会価値を創出する取り組み

車両カンパニーでは、2030年の目指す姿を、安全性、快適性、信頼性が高く、ライフサイクルコストにも優れ、省エネルギーで環境負荷の小さい鉄道車両の製造を通じて、グローバルな輸送インフラの拡充に貢献することと定めています。その実現に向けて、国内外の高速車両プロジェクトへ参画を進めるほか、国内、北米、アジアの各市場への車両供給を継続しながら、アジア新興各国における新規鉄道インフラ整備への参画を推進するとともに、機関車、電車、気動車など多様なラインアップにおいて環境負荷低減を考慮した製品を開発していきます。また、センシングや画像解析、IoT技術を組み合わせた状態監視技術を高度化し、顧客ニーズである安全安定輸送の維持・向上、車両メンテナンスの効率化、およびライフサイクルコストに優れた鉄道システムの実現に寄与していきます。



2021年度までの達成像	<ul style="list-style-type: none"> ●北米向け大型案件(ニューヨーク地下鉄向けR211)の計画通りのプロジェクト遂行 ●アジア円借款案件(バングラデシュ向けダッカメトロ6号線MRT)の計画通りのプロジェクト遂行 ●ストック型ビジネス拡大による顧客におけるメンテナンスの効率化と安全安定輸送の維持 ●センシングや画像解析技術を活用した部品の販売開始およびメンテナンス効率化に向けた部品・サービス事業の展開
2019年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●車両納入両数：528両 ●センシングや画像解析技術を活用した部品の販売開始に向けた鉄道事業者との試験実施 ●メンテナンスを含む車両周辺ビジネスの展開に向けた製品・サービスの開発



小田急5000形



E261系(提供:東日本旅客鉄道株式会社)